

「一輪を大輪に。」

華道家・假屋崎省吾さんが生け花を制作

3月19日、「道の駅なみえ」のグランドオープンを祝おうと、華道家の假屋崎省吾さんが、浪江町産の花や花木を使った生け花を制作しました。

假屋崎さんは、震災からの復興に取り組む浪江町の生産者を応援しようと、テレビ番組や個展などで、浪江町産の花「なみえのはな」の品質の高さのPRに積極的に取り組んでいます。

今回は、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、ステージでの生け花の披露やトークイベントなどは実施できませんでしたが、色鮮やかなストックやフリージア、ユウカリ、カラタチなど、色とりどりの花や花木を、国指定の伝統的工芸品「大堀相馬焼」に生け、「道の駅なみえ」の地域振興施設「本館」、地場産品販売施設「なみえの技・なりわい館」のメインエントランスに約2週間、展示しました。

作品のテーマは「浪江町。春らんまん」。假屋崎さんからは、「浪江町生産者の皆さんが、春を届けてくれました。「道の駅なみえ」の門出に、未来への希望を託して、花を生けました。これを見た浪江町の皆さんに元気を届けられますように」とメッセージが。

また当日、假屋崎さんは、制作の合間を縫って町内の生産者の激励に回り、花への思いなどを語り合いました。



花を生ける手に力がこもる（地域振興施設「本館」）



スケールの大きな作品を（地場産品販売施設「なみえの技・なりわい館」）



激励の「ひじタッチ」を荒川さんと（加倉地区）



鈴木さん夫妻と記念撮影（刈宿地区）



花への情熱を語り合う（NPO法人Jin（幾世橋地区））

小中学校教職員 離任式・着任式

3月26日に小中学校教職員の離任式、4月1日に着任式が役場本庁舎で行われました。現在、町内には、なみえ創成小学校・中学校が開校しています。

離任した先生のこれまでの実績を生かし、また、新しく着任した先生と力を合わせ、町立学校に通学する子供たち一人一人が輝く、教育活動に取り組んでいきます。



お世話になりました



よろしくお祈りします

浪江にじいろこども園卒園式

3月19日、浪江にじいろこども園において、卒園式が行われました。

たくましく成長した4人の卒園児は、保護者や先生が見守る中、園長先生から修了証書を受け取り、園での楽しかった思い出や「修了のうた」を心を込めて発表し、元気に巣立っていきました。



園生活、最後の晴れ舞台

浪江に「新モビリティ拠点」開設

日産自動車株式会社 内田社長が「浪江に事務所設立」を表明



町長のまちづくりにかかる思いに耳を傾ける内田社長（右から2人目）。左隣は中野副社長



「日産の技術で、どのような新しい価値・サービスを提供し、浪江町をはじめとした被災地に貢献できるかを勉強したい」と、前を見据えて話す内田社長

3月18日、日産自動車株式会社 内田誠社長が、浪江町役場を訪問し、吉田町長と会談を行いました。

会談では、浪江町・双葉町・南相馬市の3市町および日産自動車株式会社をはじめとするパートナー企業8社と締結した「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」に基づき、2月に実施された、電気自動車や自動運転技術を活用した実証実験プロジェクト「なみえスマートモビリティチャレンジ」について話し合われたほか、今後のまちづくりに向けた継続的な取組についても、緊密に連携を図るべく、協力体制の構築などについて具体的な意見交換が行われました。

会談後に行われた記者会見では、内田社長が「電気自動車や自動運転技術を活用した「新しい移動サービス」の構築に向け、地域に根ざし、自治体や町民の皆さんと一緒に「まちづくり」を検討できる研究拠点を「全国で初めて、浪江町に開設」することを表明。事務所は、社員40人程度が常駐する規模を想定しており、J R浪江駅周辺を候補地として設立に向けた検討を進めていく方針であるとのこと。

なお、内田社長は、町長との会談前に、自動運転技術を搭載した電気自動車の試乗を体験したほか、大平山霊園（請戸地区）や請戸小学校など、町内の視察も行いました。



請戸小学校の現状について職員から説明を受ける内田社長（右から2人目）



大平山霊園において、献花し、犠牲者の冥福を祈る内田社長（左）。右隣は渡部専務執行役員



皆さんの身の回りにある楽しい話題などの情報を募集しています。

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

津島小学校 卒業証書授与式

3月23日、津島小学校の卒業証書授与式が、二本松市の仮校舎で行われました。

この一年間「チーム嘉人」を結成し教育活動に尽力してきた木村校長は、「今を大切に生きること」「目標に向かって努力すること」「たくさんのお出会いの中で経験を積み、自分にとって本当に大切に必要なものを見極める力を磨くこと」などのはなむけの言葉を贈りました。その言葉を胸に、「避難先再開校43番目、最後の卒業生は、笑顔で立派に学び舎を飛び立ちました。



最後の卒業証書を授与

【はなむけの言葉に思いを込めて】

津島小学校休校式・再開校閉校の集い

3月23日、卒業証書授与式を執り行った後、津島小学校の休校式が行われ、二本松市再開校、での7年間の教育活動に幕を閉じました。

また、3月29日には二本松市再開校の「閉校の集い」が行われ、これまで再開校の運営に協力していただいた皆さんと思い出を語り合いました。



木村校長から笠井教育長に校旗を返納



笑顔で恩師らと記念撮影をする須藤さん(前列中央)



なみえ創成小学校・中学校の今を伝える

なみえ創成通信

学校の基本理念 子どもたちの生きる力と夢を育み、地域の未来を切り拓く学校

祝卒業!

なみえ創成小学校・中学校ともに第2回卒業証書授与式が無事に終わり、7人の児童・生徒が、なみえ創成、の学び舎を巣立っていきました。これからの地域を担う子供たちの将来が、希望に満ちた輝かしいものであってほしいと願います。

中学校卒業証書授与式 3月12日



新たな旅立ちに向けて

堂々と証書を受領

小学校修・卒業証書授与式 3月23日



卒業証書を手

思いを別れの言葉に

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、式は、児童・生徒、保護者、教職員のみで行われましたが、子供たちは立派な態度で式に臨みました。別れの言葉には、教職員や保護者だけでなく、行事や体験学習などでお世話になった地域の皆さんへの感謝の言葉も話していました。

なみえ創成小学校・中学校ブログ

なみえ創成

検索

問 なみえ創成小学校 TEL 0240(23)5335 問 なみえ創成中学校 TEL 0240(23)5336